

## 第 2 回太子町総合計画審議会概要

日 時：令和 2 年 11 月 17 日（火） 午後 2 時～4 時

場 所：太子町役場 1 階 万葉ホール

議 題

1 開会

2 議事

(1) 住民アンケート調査（住民意向の把握と分析）について

(2) 前期基本計画の施策評価について

(3) 後期基本計画（素案）について

(4) その他

3 閉 会

欠席者

浅野委員

長尾委員

松端委員

《審議会概要》

1 開会

吉川会長による挨拶を行った。

2 議事

(1) 住民アンケート調査（住民意向の把握と分析）について

事務局より資料 1-1、資料 1-2 に基づいて説明（説明内容省略）

吉川会長 何か質問はあるか。

田中委員 アンケート回収数 385 票は予想よりも多かったか。

事務局 アンケートの数としては有効な数なので問題はないが、前回の 490 から 100 余り減っているためイメージとしては少なく思う。

西田委員 アンケート回収が少ない。回答に「普通」が多い。普通とは興味がないからなのか。このような設問の仕方によかったのか。

無作為で抽出したとのことだが、あらかじめ 10 代を何名確保しようとかは考えていなかったということか。10 代の回答が少なく、反映できているとは考えにくい。太子町に住み続けてもらいたい、人口を増やしたいというのであれば、アンケート以外にも 10 代の声をもっと聞く場を設けるべきではないか。

事務局 第1回でも説明した通り、前期との比較検証という部分が大きいので、質問項目についてはやむを得ないと考えている。

抽出に関しては、ランダム関数の関数シートを用いて抽出している。回答数は偏りがあるが、抽出件数としては対象内住民の人口構成を反映させ抽出した結果だと考えている。すべての意見ではないと思うが、そういった部分も踏まえ方向性を議論し反映させていきたい。

斧田委員 回収数の考え方については、関心度が低くなっているのが、普通が多いというところが出てきてしまっているのではないかと。数値としてみていくのは少なくとも仕方がない。数値で施策を決めるところまでは行ってない。読み取り方には気を付ける必要がある。

吉川会長 自由意見は、どのようなものが多かったか。

事務局 コロナウイルス感染症対応に対する意見。6月1日から運行開始している地域公共交通に関する意見。道の駅を充実させてほしい、また観光に力を入れてほしい。観光資源の有効活用。観光PRに関する意見。子育て世代の人が、このまちにいて良かったと思えるまちづくりをしてほしい。子育てをしながら働ける環境づくりが大事、など子育て支援に関する意見。また生涯学習施設に関して早期建設を希望する意見のほか、町行政や職員に関する意見もあった。

中村委員 町会の脱会者が多い。不満度があつての脱会なのか調査に反映することはできなかったのか。

事務局 後ほど説明するが、個別の施策の中で町会・自治会離れも含め、進めるような形で取り入れる方向で示している。

## **(2) 前期基本計画の施策評価について**

事務局より資料2に基づいて説明（説明内容省略）

西田委員 数値とアンケート結果を見比べているが、数値達成度では4.1、アンケートでは3.0となっており、行政側はやった気になっているが、住民側はそうは思っていないという結果か。

さらなる取り組みを新たに増やすのか、それとも達成するためにもっと頑張る、PRするのか。

事務局 目標値での達成度は上がっているが、アンケートでは客観的な数字そのままということである。住民の満足度に対してはさらなる取り組みが必要となる。

方向性は大きくぶれることはないと考えている。ただ、年初から今までにないような新型コロナウイルス感染症も含め、新たな取り組みは出てくると思う。そういった事業については個別の事業になってくるので、実施計画で進めていく。方向としては変わらない。

金谷委員 アンケートは、どちらかを定めるものである。結果の中で、「普通」がなかったらどこに傾いたのか知りたい。その結果によって回答が変われば、その後の処置も変わるので、慎重にしていきたい。

吉川会長 数値満足度 3.5、アンケート 3.2 その差 0.3 はどうとらえているか。

事務局 先ほどの西田委員からも意見が出たが、達成度と満足度の違い。達成度も満足度も 5 段階評価で、3 以上なので一定の評価はもらえていると思う。基本目標 5 など施策によって達成度と満足度に差があるのも事実なので、今後そういった部分も踏まえ事業展開していかなければならないと考えている。

西田委員 基本目標 5 については、ホームページがよくないという結果である。このことも念頭に入れて総合計画を進めていただきたい。

事務局 方向性は変わることはない。個別の事業の中で具体的に進めていきたい。

### **(3) 後期基本計画（素案）について**

事務局より資料 3-1、資料 3-2 に基づいて説明（説明内容省略）

竹谷委員 短い間によくまとめられた。令和 7 年にやりきるという決意もあり、すごい力のある集団だと思う。

アンケート結果は町にかかわりを持った人たちがつくりあげた到達点であり成果である。この案をもとに、絵に描いた餅にならないように各部署で真剣に討議してほしい。責任を持って実行してほしい。

素案には外国人籍の方のことが挙げられていないが、外国人も住民である。言葉や生活の壁がある。計画に取り上げてほしい。

角田委員 よくできていると思う。200 点くらいである。

息子が後を継いでいるが、この子どもたちのためにもいい足跡を残してあげたい。腹を割って議論して我々が言っても門前払いにならないようにしてほしい。

平井委員 P45 の地域医療について、連携について書いてあるが、実現は難しいと思う。在宅医療や訪問看護を利用したアウトリーチによる高齢者の見守りや対応も入れてほしい。

西田委員 アンケートで不満の多い質問は医療と買い物である。医療はここに書いてあるだけで

は解決しない。医療機関が足りないことへの対応が必要である。医療サービスが受けられない、ということに対しては応えられていない。

買い物については、大規模施設はできたが、まだ不満が多い。身近な店が奪われていることが大きい。身近な商業を応援することも常に頭の中に入れてほしい。

母子保健については、4か月検診をみると、98%が94.4%に下がったうえで目標値が変わらないとのことだが、以前より下がってしまった理由を知りたい。

中村委員 子育て支援はいい計画を町でもたてられていると思う。私は島根の出身だが、ここでは子どもを産むまでの支援も行っている。例えば若者同士の交流やお見合い等、子どもが生まれるまでの過程を計画に入れていく方法もあると思う。

事務局 赤ちゃん訪問、大きな金額ではないが出産祝い金を出す事業は実施している。

森田委員 子育てなどは各市町村のどこも同じようなことを行っている。身近な人口減少問題については町所有の土地を住宅地として開発するなど独自の案はどうか。

田中委員 町会離れが多い。4割くらいか。脱会の多さを懸念している。町会に入らないことは行政への無関心を示している。町として考えていかなければいけないことが抜けている。地域への愛着や近所の助け合いが一番大事である。

金谷委員 自助・公助について考えても今しか町会離れを止めることはできない。一つの命令ですぐに意思統一できることが一番大事である。

藤原副会長 行政サービスは満足度が低い、HPの更新日時が古いままに進んでいない。行政のデジタル化を進め、住民サービスの向上につながる取り組みとして、手続きの効率化、役所に行かなくても手続きできるなどの利便性の向上を図れないか。空家が増えており治安、防災面、景観の面でも対策が必要。

小路委員 職員に話を聞くと、町にはお金がない、といわれる。観光協会は、私はボランティアでやっている。町がひとつになってやる必要がある。この町を何とかしたいという意気込みでやらないとこの町はだめになってしまう気がする。総合計画をひとつひとつ達成できるように力を合わせる。

西田委員 自治会加入率が下がっているのは、皆さん危機的と感じておられると思う。対策を見れば重点プロジェクトに町会・自治会入会促進マニュアルと書いてあるが、住民を巻き込んでやらないと、マニュアルを作ったからそれで終わり、ではいけない。

事務局 そのあたりは今後詰めていく。現状、具体的に示せる段階ではない。

吉川会長 後期基本計画は創生総合戦略と一緒に進めていくという方向ですが、国や地方から指示命令は強く来ているのか。

事務局 具体的に指示や命令はないが、国や府でも重点的に第2期まちひととごとの総合戦略という形で位置づけられている。本町も、人口減少の抑制、子育て施策、産業振興、委員からの意見にもあった部分の地方創生、町として持続可能なまちづくりとして重要な施策として位置付けている。

中村委員 かつて組まれた計画でも、現在ではそぐわないものもあるのではないかと。今までの検証を行ったうえで計画を立てていただきたい。

斧田委員 P28の重点プロジェクトに「みんなで歩む協働のまちづくり」が入っていないが、議論になっている町会離れはこの部分だと思うがここに力を入れなければいけないのではないかと。

事務局 町会、自治会という部分は個々の施策について（素案）の75・76ページ「(3)個性豊かなコミュニティ活動の促進を図ります」の「地域への愛着心の醸成の①」に後期基本計画では位置付けている。重点プロジェクトに該当する施策として着色して載せている。

斧田委員 マニュアル的ではなくどういうふうに取り組んでいくかまで入り込んだ方がいいのではないかと。

事務局 協働のまちづくりというところで、重点プロジェクトでの位置づけという部分を再度、今回の素案に向けて構成を検討したい。

吉川会長 資料3-1の太子町の概況の3行目に「地方部における人口減少の顕著化」とあるが、ふるさと創生か地方部か。太子町の中央部と中心部の話か。

事務局 地方部におけるというのが、錯誤かと思う。再度、文言を確認したい。

事務局 素案に対しての意見を現在の素案に取り入れ、来月中旬以降の審議会で案として示す。そこで承認をもらいパブリックコメントにかけたいと思う。年明けにパブリックコメントの意見を集約し、総計審という流れを考えている。

吉川会長 それまでに意見があれば直接事務局に言ってもらって、最終案を仕上げてもらいたい。その他、言っておきたいことはあるか。無いようなら、この辺で終わらせてもらいたい。事務局、次の予定、その他あるか。

**(4) その他**

事務局 事務局からは特に案件はない。次回、第3回会議は12月中旬頃を予定している。再度案内する。

吉川会長 長時間になったが、これで終了したいと思う。

以上